

女性自身

谷原章介(祝)6人目!子たくさんばB型夫婦、堀ちえみ(7)橋本聖子(50)も芸能界驚法則発見

ア然撮!相方、加藤浩次(65)の願い、踏みこじる...同棲恋人と(新)東京ライフ

山本美智子復帰!?ど~でもいいよ!!

極楽

恥辱動画で脅迫され続け...

雅子(61)美智子(80)の悲願へのサプライズ訪韓を壁を阻む

1月27日号 特別定価 400円 光文社

今週のキスマイ 玉森&宮田旅へ行こう!

川崎麻世妊娠、愛人涙の全告白

本誌は見た! ASKA(56)7カ月帰宅し妻(59)が呼びかけた家族結集で支える



登坂広臣(27) 愛届けます 岩田剛典(25)

自然のサブリ れんこん力で サラバ花粉症

明菜(49)孤独な叫び 30年名言集 美智子(80)愛されるヤルイグルメ17

お金が貯まる家族

貯まらない家族、逆境、乗り切る知恵

矢田(56)は第三の人生が新境地 マックはポテトに歯で500円商品券... 異物混入食品企業のお詫び調査

対談 木佐彩子(43)×石井ニク(41) 初子供と思えば...夫婦円満の秘訣 完全電力自給夫婦の節電術 大反響第2弾!電気代月5千円減の秘策10

Dr.コパ合格風水カレンダー 鏡餅と2ジョックで我が子に春が

阪神・淡路から20年 シリーズ人間 仮設のマザー・テレサ2810日の闘い

華麗なる神戸 食べ歩きの旅

しましまミルフィーユ サラダ 3STEPS美レシピ

女子力アガります アップルパイ LOVEオールスターズ

春まで磨く 手のひら1杯分のくるみで血管が若返る! 山田優(30)も信奉! 美肌手作りオーガニックコスメ 8STEPS体操でたるたる背肉撃破する!

ユージ(27)才能VS.対決 JOY(29)

阪神・淡路大震災から20年。
東日本大震災でも被災者の
ために奔走し尽くした
女性が志半ばに逝った。

「人間にとっていちばん不幸なのは病気で貧困でもなくて、自分はこの世にいない人間だと思ふこと」(マザー・テレサ)。突然の災害に襲われ、住む家を失い、絆を失った仮設住宅での生活。どれほど寂しく孤独なものだろうか。だが、日本が体験した2度の大災害を通して、仮設の人たちを救い続けた女性がいたことは、私たちに希望の光を与えてくれる――。

面瀬中学の校庭に建てられた仮設住宅は17棟。1棟あたり9世帯、合計153世帯380人が暮らすことができる。集会所は、仮設で暮らす人々の憩いの場。健康管理の

大震災から4度目の冬が訪れていた。朝6時20分。宮城県気仙沼市にある面瀬中学校仮設住宅集会所に、朝のラジオ体操をしようと一人のおばあちゃんが入ってきた。「81歳ですよ。寒い？ 寒くないですよ。寒いときに寒くなかったら、ワカメもコンブもおいしくならぬよ」外は氷点下10度を下回りそうな寒さだが、おばあちゃんは潑刺として元気だ。

1213家族の



寂しさと闘った。



「最後のひとりが仮設を出るまで死ねない……」
「仮設のマザー・テレサ」と呼ばれた黒田裕子さん(享年73)の2810日

シリーズ
人間

No.2210
題字/武田双雲

ライブ間

「54歳のときに阪神・淡路大震災が、「孤独死」に激しい衝撃を受ける

黒田裕子さんは41年3月23日、兵庫県出雲市で生まれ、



面瀬中学校仮設住宅の集会所の祭壇前で。ボランティアの中心にいたのは黒田さんの薫陶を受けた藤田アイ子さん(写真左より3人目)

育った。弟、妹、90代の母親は今も健在だが、家族はすべて取材を断っている。出雲時代の詳細はわからない。小・中学校を卒業後、京都の看護学校で准看護師、その後、正看護師の資格を取って、兵庫医科大学病院に勤務した。10年間、一緒に働いた看護師の山田繁代さん(現・同病院人材対策室長)は、黒田さんはおしゃれで腕のいい看護師だと話してくれた。

「よく覚えているのは聴診器」

「よく覚えているのは聴診器」

「よく覚えているのは聴診器」

神戸市内最大の仮設に移り住む。一軒一軒、声をかけて回った

阪神・淡路大震災後の6月、黒田さんは、自ら進んで仮設住宅に引っ越した。

「最終的に目指すのは住民の自立として神戸でも気仙沼でも常に仮設住人と将来プランを熟く語り合った」



兵庫医科大学病院で看護師をしていたころは私服だけでなく聴診器も真っ赤というおしゃれな女性として有名

拠点でもある。細長い集会所の手前には、血圧測定器や体重計が置いてあった。

「震災から20年を目前にしたこの年に、がんを発症して、命が終わるといふのは、どういふことか知らね。私の20年ってなんだったと思う？」

「震災から20年を目前にしたこの年に、がんを発症して、命が終わるといふのは、どういふことか知らね。私の20年ってなんだったと思う？」

「震災から20年を目前にしたこの年に、がんを発症して、命が終わるといふのは、どういふことか知らね。私の20年ってなんだったと思う？」

「震災から20年を目前にしたこの年に、がんを発症して、命が終わるといふのは、どういふことか知らね。私の20年ってなんだったと思う？」

全国27院

好評放映中!!

0120-107-929

シリコンクリニック

城本クリニック

シワ・たるみ・ボディ

お悩み別に解決!!

本格的なたるみ取り術

フェイスリフト

目の上、目の下のたるみとり術

メスを使わないシワ・たるみ取り術

サーマクール

ミラクルリフト

超音波脂肪吸引・痩身術

その他の施術

受付フリーダイヤル

イオンナ

クリニック

0120-107-929

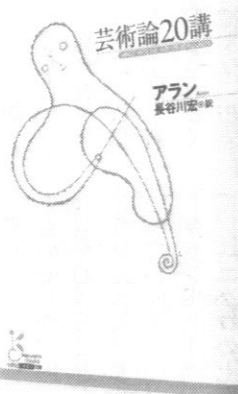
診察時間 AM10:00~PM7:00 / 完全予約制 / 初診料無料

安心の全国ネットワーク

新宿・銀座・長野・郡山・富山・金沢
高崎・甲府・水戸・大宮・立川・柏
津田沼・横浜・静岡・名古屋・豊橋
岐阜・四日市・京都・大阪・姫路・岡山
広島・松山・福岡・長崎

芸術論20講

あなたの芸術の見方、間違っているかもしれないよ。
音楽、演劇、詩、建築、彫刻に絵画。芸術作品とは、初めに構想(アイディア)があつてそれを具現化したものだ。私たちが考えがちな、それは違う。アランは言う。では、どう考えるのか? 『芸術の体系』に次ぐアランのユニークな芸術観が展開される講義録。



スペードのクイーン／
パールキン物語
プーシキン／望月哲男◎訳
狭き門
ジッド／中条省平◎訳

いま、息をしている言葉で。
光文社 古典新訳 文庫
http://www.kobunsha.com/

が9月、西神で1人目の孤独死が出てしまう。まだ50代。死後2カ月が経過していた。

黒田さんは、耐えられないという口調で、NPO副理事長で医師の梁勝則さん(58)に訴えたという。

「出てしまったの、孤独死が。面瀬中仮設住人の黒山松子(左)は「携帯に黒田さんの写真を入れてお守りにしているから血圧も安定よ!」



4世代で面瀬の仮設に暮らす尾形ファミリーの孫娘は黒田さんの死後、「看護師になる!」と夢を語るようになった

リズア

デイサービスなど支援活動の事務所兼集会所「伊川谷工房」を構えた。仮設を出て散り散りになった人たちが、新しい環境に慣れるまでのよりどころが必要だ、と。

「お菓子!」と返す偏食家。肉が嫌い、被災者が黒田さんのためにと作ってきたマザー豆腐のひき肉を、箸で全部避けたという逸話もある。「それに、いつも仮設を駆け回っているんです。その足がまた速い。運動神経はよかったですね」と、話すのは、地元のリーダーで元看護師の藤田アイ子さん(64)だ。それを言うと、黒田さんは自慢げだった。

「故郷の出雲で過ごした最後の日々。この景色がいいの。私は幸せ」

身長157cm、体重40kg。台前半。黒田さんは華奢な女性だ。そもそも食べない。「何食べて、生きてんの?」と、聞くと、「お菓子!」と返す偏食家。肉が嫌い、被災者が黒田さんのためにと作ってきたマザー豆腐のひき肉を、箸で全部避けたという逸話もある。「それに、いつも仮設を駆け回っているんです。その足がまた速い。運動神経はよかったですね」と、話すのは、地元のリーダーで元看護師の藤田アイ子さん(64)だ。それを言うと、黒田さんは自慢げだった。

「ふだん、絶対に横にならない人が初めて『ごめんささいね』と、横になったんです」藤田さんは心配のあまりこう言った。「神戸に帰ったら、絶対、病院へ行ってくださいわね」看護師なのに、黒田さんは診察も薬も大嫌いな人だった。そして8月28日。西宮の病院で末期がんの告知を受ける。9月、藤田さんは黒田さんに呼ばれて、西宮へ飛んだ。「帰ったら『黒田は肝がんで余命3カ月と言われました。もう面瀬に行けません』と伝えて、『今まで受け入れてくださり、感謝しています』と」面瀬の人々への最後のメッセージも藤田さんに託した。「私は死んでもお墓の中にいません。面瀬の空の上に、います」

「西宮での治療の後、本人としての希望で、黒田さんは故郷・出雲の緩和ケア病棟へ転院する。付き添った看護師・石口房子さん(62)には、「西宮にいと(知人が多すぎて)葬儀のとき迷惑をかける」と、話したが、転院の理由はそれだけではなかった。



20年近く活動を共にした医師の梁さんは「カリスマ亡きあとの活動の行く末を案じている」と心情を打ち明けた

「命を救えるなら、怒鳴られても、にらまれてもいいの!」酔った独居男性に、刃物を突きつけられたこともある。「ノック3回で諦めていたら、アルコール依存症がどんどん悪化して、死ぬかもしれない行くしかないじゃない」黒田さんは、彼が刃物を突きつけるまでに至ったストーリーに思いを巡らす人だった。「怖くなかったと言えは嘘に

なるけど、彼がなぜそんな精神状態に置かれているかを考えたら、寄り添いたい思いが揺らぐことはなかったわ」一時は千人以上いた仮設暮らしの人々一人一人の顔、名前、好みまで、黒田さんはすべて記憶していたという。見守り訪問と並行して、仮設敷地内に約40畳の「ふれあいテント」を設置した。24時間オープンなテントは、面瀬集会所の原型だ。「被災者は日が暮れてから寂しさが募る。その寂しさに、ボランティアは寄り添うべき」仮設暮らしが1年もたつと、寂しさから認知症、アルコール依存症、虐待が増えていく。黒田さんはテントに「なんでも相談コーナー」や「ふれあい喫茶」を設置。住民に呼びかけ、自治会も発足させた。「ボランティアはいつか離れ

る。被災者の暮らしは被災者自身が作らないと」先の先まで見据えた彼女の支援の最終目的は「仮設住民の自立」だ。仮設住宅を改造し、独居者や少人数世帯のグループハウスを計画。これは日本初の取り組みだった。行政と交渉を重ね、仮設改造の許可を得た。金銭的な援助は企業などに協力を求めた。「彼女は巻き込む天才です。いつのまにか誰もが仕事をさせられている。行政も、最初は喧嘩腰でも、最後は協力を惜しまなかった」(梁さん)NPO理事兼事務局長の宇都幸子さん(70)も言う。「仮設で喫茶店を開くときも、材料が何もない。すると、黒田はまっすぐUCC本社に飛び込んで、『1年間、コーヒー豆とお砂糖とミルク、コーヒーメーカーを寄付してください』。それができる人でした」



昨年12月21日に神戸市東灘区で行われた黒田さんの「徳会」には作家の柳田邦男さんや仮設住人650人が集った

烈火人間

出雲に向かう機内で「まもなく出雲に到着します」のアナウンスが流れると、グッタリ横たわっていた黒田さんが、突然、両手を上げ、叫んだ。「万歳! 最高だ!」

長年、故郷のことなどおおくにも出さなかった黒田さんが思わず漏らした心の叫びだったのだろうか。

出雲では、ストレッチャーでベランダに出て、暗くなるまで里山を眺めていた。

「この景色がよいのよ。私は幸せ。幸せ。幸せよ」

何度もつぶやく表情は、穏やかだった。彼女は優秀な看護師だ。死期は悟っていた。「宇都さん、あと数日みたい」そう言った数日後、予告どおりに逝ってしまった。

9月24日午前0時27分。妹と甥が駆けつけると、待っていたかのように、「ありがとう」と3回つぶやいて、被災地に輝いた巨大な星は、空へと昇



ハイチの復興視察団に囲まれて。ボランティアや看護師など黒田さんの「教え子」は世界中で遺志を継いで活動中

黒田さんのまいた種が、日本中でボランティアの花を咲かせて

暮れも押し詰まった昨年12月21日。神戸市東灘区で、黒田さんの「忍ぶ会」が開かれた。ボランティア仲間や阪神・面瀬の住民など60人が駆けつけて、献花場の外まで串問の人々であふれた。

黒田さんが好きだったピンクや赤い花に彩られた華やかな祭壇だった。黙禱の後、現場の黒田さんの映像が流され、ゆかりの人々が言葉を捧げた。

20年来交流があった作家・柳田邦男さん(78)は、黒田さんに巻きこまれた1人。「阪神・淡路の青テントを訪ねると、黒田さんは挨拶もそ

なせ、これほどまで真つすぐに、被災者と寄り添えたのだろう。阪神、東日本だけではない。中越も、ハイチやインドネシア、四川でも現地に入った。災害看護支援機構理事長の小原真理子教授は言う。「彼女は阪神・淡路の夜、看護関係の原稿を書いて、起きていたそうです。『あの夜、お布団で寝ていたら、私は間違いなく倒れた家具で圧死した。だから、私の背には震災で亡くなった6千400人の魂がいつも乗っているの』と、言っていましたね」

あの日、命拾いをした。生かされ、長らえた命なら、今できることを全身全霊でするべきだ。自分も同じ被災者だという思いもある。それが黒田さんを突き動かした。

「黒田は『最後のひとりまで』の思いで、面瀬に入っていました。自分がこんなに早く亡くなるのは、思っていないから、たんでしよう」(宇都さん)

思いは「まだ、これから」だったのだ。西宮の病院では、「まだ、やり残したことが、伝えたいことがある。それができないうちと悔しい……」感動屋で、よく泣く人だったが、このときほど苦い涙を流したことはなかった。

——面瀬での活動は、昨年3月までの予定だったが、黒田さんが今年3月まで延ばし

ている。つまり、3月31日で支援は終了することになる。仮設住民は、これからしばらくつらい時期を迎える。ほかに行き場のない60歳以上の高齢者世帯がほとんどの面瀬では、これが大変だ。

黒田さんも言っていた。「1年目より2年目、3年目より4年、5年目が大変です」

16年3月には全員、仮設を出る計画が進む。高台などへの集団移転か公営住宅かの選択を迫られる。震災から20年の阪神でさえ被災者ケアは現在進行形だ。

「1月17日が近づくと、いまだに体調を壊し、精神的にも落ち込む人が多いんです」と、宇都さんは言う。

「面瀬では、一人一人が自分に合った自立を果たそうとしています。神戸や東北でボランティアをし、看護師や救命救急士になる人、地元でボランティアをする人も多い。その意味で、これから日本中で黒田のまいた種が花を咲かせているのではないかと期待します」

大輪に成長した弱者に寄り添う花々を、黒田さんはきっと、空からうれしく見守り続けることだろう。

衰える体力とたまるブヨブヨ、どうする!? 体重の悩みとグッタリ感を吹き飛ばせ!

-6kg減の衝撃!

2か月で6kg減! こんなにラクしているの!? 「寝不足でも、翌朝、体が軽いんです!」など、今、ミドル世代から絶賛歓喜の声が相次ぐダイエットをご存じだろうか? 今までのダイエットと一線を画するのは、体重ケアに威力を発揮するだけでなく、活力がみなぎると人気を呼んでいる。噂の真相に迫る!



ウエストまわりにくびれ!! イミダチドダイエットって!?

TV・雑誌で話題のダイエット素材「イミダチド」って何!?

- ひとつでも当てはまったら…
- ✓ ダイエットしてもヤせない
 - ✓ 年齢とともに体重が増えた
 - ✓ グッタリ、ヘトヘト体が重い
 - ✓ 実年齢より老けて見られる

※愛飲者個人の感想であり効果を保証するものではありません。

「気がついたらストン! 落ちてました。それまでウエスト周りのゼイ肉なんて、なかなか落ちずに苦労したのに、今では印象がぜんぜん違うみたいなんって言われ…。2か月で6kg減なんて、普通考えられませんか」